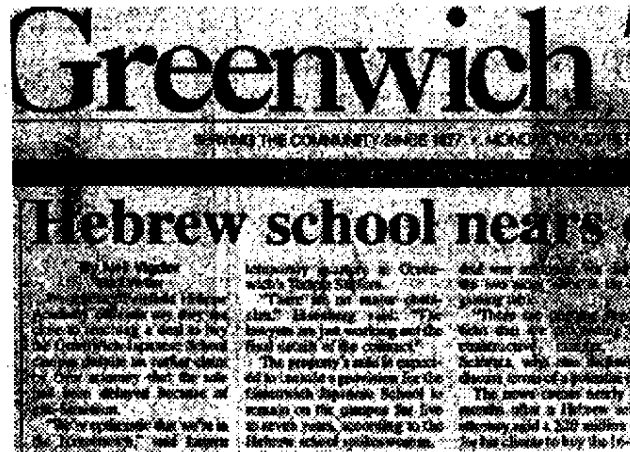


# 売却交渉成立間近か

## 地元紙グリニッチ・タイムスが報道

## NY日本人学校校舎売却問題

## 条件大詰めに入る?



売買交渉成立間近と報じる14日付グリニッチ・タイムス紙

ニューヨーク日本人学校があるコネティカット州グリニッチの地元紙グリニッチ・タイムスは11月14日付1面で「ユダヤ人学校不動産買収間近」という見出しで、日本人学校を運営するニューヨーク日本人教育審議会との校舎売買交渉が近く完了するとのユダヤ人学校側の見解をトップ記事で報じた。買手側広報担当者の「何の大きな障害もない、双方の弁護士が契約の詳細を詰めるだけ」とのコメントも掲載。売買交渉が遅れている原因として同紙は何人か

の日本人学校の管理者と保護者の反ユダヤ主義のせいであると報じた。これに対する審議会弁護士「理事も学校管理者も事務スタッフも学生も保護者も、貴方の主張するようなことは言っていない」という反論が4面に掲載されている。

坂本審議会会長は今日11日付で校舎売却に反対している保護者タスクフォースの代表であるエミール・ジャックマン日本人学校PTA会長に書簡を出し、審議会が3月、5月、9月と保護者に対する説明会を開催して意見を尽くしてきたことを改めて通達、売却に理解を求めた。校舎を売却しても、少なくとも、どちらに転んでも審議会は米国訴訟の渦中に巻き込まれていく可能性が大だ。